

「消化器」コースユニット4・5・6試験問題

2022年7月15日

1. 次のうちで誤っているものはどれか。

- (a) 10mm以上の胃底腺ポリープは癌化を考慮して内視鏡的切除を行う
- (b) 胃アニサキス症に対しては虫体の内視鏡的摘出が有効である
- (c) 胃十二指腸潰瘍の原因の1つに、NSAIDs（非ステロイド性抗炎症薬）の服用がある
- (d) 機能性ディスペプシアでは各種検査にて明らかな器質的異常を認めない
- (e) 胃びらんとは、組織欠損が粘膜層のみの状態のことをさす

2. *H. pylori*について誤っているものはどれか。

- (a) 幼児期に自然感染した *H. pylori* は、ほとんど自然排除されることはない
- (b) *H. pylori* の感染率について、年齢が高いほど感染率は高い
- (c) Strickland-Mackay 分類における A 型胃炎は、*H. pylori* 感染と関連が深い
- (d) 胃 MALT リンパ腫は、*H. pylori* 除菌療法の保険適応である
- (e) *H. pylori* 陽性の慢性胃炎（萎縮性胃炎）患者は *H. pylori* 未感染者と比較して胃癌発生のリスクが高い

3. 肝硬変の特徴について、組み合わせで誤っているものはどれか。

- (a) HBV 関連 — 結節が大きく、間質が狭い傾向
- (b) HCV 関連 — 間質の幅が広い傾向
- (c) うっ血性 — 肝小葉の逆転像
- (d) 胆汁性 — はめ絵型
- (e) アルコール性 — 大結節性

4. 組み合わせで誤っているものはどれか。

- (a) 急性膵炎 — 膵実質融解、脂肪壊死、出血、炎症
- (b) 慢性膵炎 — 外分泌腺萎縮、線維化、炎症
- (c) 膵仮性嚢胞 — 被覆上皮なし
- (d) 膵癌 — 5年生存率 50%以上
- (e) 膵内分泌腫瘍 — ランゲルハンス島由来

5. 次の肝細胞癌の治療のうち根治療法はどれか。2つ選べ。

- (a) 放射線治療
- (b) 肝動脈化学塞栓術（TACE）
- (c) ラジオ波焼灼術（RFA）
- (d) 分子標的薬
- (e) 肝移植

6. 肝硬変の成因で増加傾向にあるのはどれか。2つ選べ。

- (a) B 型肝炎
- (b) C 型肝炎
- (c) 自己免疫性肝炎
- (d) アルコール性肝硬変
- (e) 非アルコール性脂肪肝炎

7. 急性閉塞性化膿性胆管炎について正しいのはどれか。2つ選べ。

- (a) 原因疾患として最も多いのは総胆管結石である
- (b) 重症例では経皮経肝胆管ドレナージは禁忌である
- (c) ショックは Charcot の三徴の一つである
- (d) 重症例では敗血症を来す
- (e) 起炎菌は Gram 陽性球菌が最も多い

8. 主に胆道の上行性感染で形成されるのはどれか。
- (a) 純コレステロール結石
 - (b) コレステロール混合石
 - (c) 黒色石
 - (d) ビリルビンカルシウム石
 - (e) 炭酸カルシウム石
9. 胃癌の遠隔転移に関し正しいのはどれか。2つ選べ。
- (a) 胃癌の腓浸潤は遠隔転移に含まれ
 - (b) 胃癌の腹膜播種は遠隔転移に含まれる
 - (c) 治療方針の第一選択は手術による転移巣の切除である
 - (d) 胃癌の遠隔転移は胃癌取り扱い規約では Stage IV に含まれる
 - (e) *Helicobacter pylori* 除菌治療は遠隔転移巣の治療にも有効である
10. 急性虫垂炎でみられない徴候はどれか。
- (a) 筋性防御
 - (b) Rovsing 徴候
 - (c) Murphy 徴候
 - (d) Blumberg 徴候
 - (e) Rosenstein 徴候
11. 大腸癌の病期を規定する因子でないのはどれか。
- (a) 肝転移
 - (b) 腹膜転移
 - (c) 壁深達度
 - (d) リンパ節転移
 - (e) 組織学的分類
12. 肛門疾患について正しいのはどれか。
- (a) 内痔核は直腸癌の合併が多い
 - (b) 内痔核は排便時痛が特徴である
 - (c) 外痔核は歯状線の口側に発生する
 - (d) 内痔核は3時、7時、11時に好発する
 - (e) 血栓性外痔核は痛みを伴うことがまれである
13. 胆石の原因となるもので誤っているのはどれか。
- (a) 妊娠
 - (b) 糖尿病
 - (c) 急性膵炎
 - (d) 胃切除後
 - (e) 遺伝性球状赤血球症
14. 胆道疾患について正しいのはどれか。
- (a) 胆管と膵管は通常、十二指腸壁外で合流している
 - (b) 肝門部領域胆管癌では Courvoisier 徴候が認められる
 - (c) 肝内結石症で肝腫大を認める場合は肝切除の適応である
 - (d) 膵胆管合流異常症の胆道非拡張型では胆嚢癌の合併が多い
 - (e) Calot 三角は左肝動脈の位置を予測しておくために重要な指標となる
15. 膵臓から外分泌される消化酵素はどれか。2つ選べ。
- (a) リパーゼ
 - (b) アミラーゼ
 - (c) インスリン
 - (d) グルカゴン
 - (e) セクレチン

16. 膵管内乳頭粘液性腫瘍 (IPMN) について正しいのはどれか。
(a) 中年女性に多い
(b) 膵尾部が好発部位である
(c) 分枝型 IPMN は悪性のものが多い
(d) 他臓器癌を合併に注意が必要である
(e) 主膵管型 IPMN はブドウの房状の形態をしている
17. 乳腺疾患・診断に関して誤っているのはどれか。
(a) 血性乳頭分泌は乳管内乳頭腫で認める
(b) 乳癌の確定診断はマンモグラフィで行う
(c) 女性部位別がん罹患数で乳癌は第1位である
(d) 線維腺腫は20-30歳代の女性に最も多く認められる
(e) 乳腺症の主症状である腫瘤・硬結・疼痛の多くは自然に軽快する
18. 乳癌に対する外科治療の考え方で正しいのはどれか。
(a) 乳房再建術は、切除と同時に行うことが原則である
(b) 乳房部分切除術後は、放射線療法を行うことが望ましい
(c) 乳癌手術の術式選択には、患者の希望より医療者の判断が優先される
(d) 非浸潤性乳癌はステージ0であるので乳房温存術を第一選択とすべきである
(e) センチネルリンパ節生検は腋窩リンパ節郭清よりリンパ浮腫を起こしやすい
19. 免疫染色で行う乳癌のサブタイプに当てはまらないのはどれか。
(a) HER2
(b) Luminal A
(c) Luminal HER2
(d) Triple negative
(e) Microsatellite unstable
20. 小児固形腫瘍と腫瘍マーカーとの組合せで正しいのはどれか。3つ選べ。
(a) 肝芽腫 — AFP
(b) 腎芽腫 — CEA
(c) 神経芽腫 — NSE
(d) 横紋筋肉腫 — SCC
(e) 胚細胞腫瘍 — AFP
21. 疾患と治療法の組み合わせで正しいのはどれか。2つ選べ。
(a) 腹壁破裂 — サイロ形成術
(b) 腸回転異常症 — Ladd 手術
(c) 胃食道逆流症 — 幽門筋切開術
(d) A 型食道閉鎖 — 人工肛門造設術
(e) 鎖肛 (直腸肛門奇形) — 無神経節腸管切除術
22. 癌の再発・転移について正しいのはどれか。2つ選べ。
(a) 肝転移はリンパ行性転移である
(b) 肝転移を伴う大腸癌は手術の適応とはならない
(c) 再発、転移の診断に FDG-PET CT は有用である
(d) 粘膜下層まで浸潤する消化器癌では腹膜播種を生じることが多い
(e) 大動脈周囲リンパ節転移を伴う胃癌は全身化学療法の適応である
23. 腹腔鏡手術の特徴について誤っているのはどれか。
(a) 骨盤内の死角が解消される
(b) 気腹のために酸素が使われる
(c) 開腹手術に比べて入院期間が短い
(d) 拡大した視野で手術が可能である
(e) 開腹手術に比べて手術創が小さい

24. 消化器癌手術における周術管理・栄養管理において正しいのはどれか。
(a) 術前の心機能評価方法に ASA 分類がある
(b) 術後は 72 時間以上のベッド上安静が必要である
(c) 術後の予防的抗菌薬は 1 週間程度の投与が推奨されている
(d) 術前に明らかな血栓がなければ、術後の静脈血栓症予防策は不要である
(e) 低栄養を伴う患者に対して栄養サポートチーム (NST) の介入は必要である
25. 周術期合併症について誤っているのはどれか。
(a) 術後絞扼性イレウスには手術が必要である
(b) 術後出血を疑う所見に頻脈、血圧低下、尿量の低下がある
(c) 肺血栓塞栓症に対して下大静脈フィルター永久留置が第一選択である
(d) 手術部位感染 (SSI) の起因菌には腸球菌、緑膿菌、MRSA によるものが多い
(e) 縫合不全のリスクファクターに低栄養、糖尿病、ステロイド長期内服がある
26. 腹膜炎の所見はどれか。2 つ選べ。
(a) 筋性防御
(b) Dance 徴候
(c) 腹壁静脈怒張
(d) Blumberg 徴候
(e) Courvoisier 徴候
27. 緩和医療について正しいのはどれか。2 つ選べ。
(a) オピオイド使用時には下痢に注意を要する
(b) 緩和ケアは癌終末期と診断されてから開始する
(c) 疼痛緩和に対する薬物療法は経口薬から開始する
(d) 疼痛緩和に対する薬物療法は時刻を決めて投与する
(e) 全人的苦痛 (トータルペイン) に身体的苦痛は含まれない
28. 次のうち正しいものを選べ。
(a) ウイルソン病では血清銅、セロプラスミンがともに上昇する
(b) ゴーシェ病では肝腫大は強いが脾腫大は稀である
(c) シトリン欠損症は糖質を嫌い、脂質・タンパク質を好むような食癖が特徴である
(d) アンモニアは主に腸内細菌で産生され、脳や骨格筋での産生はない
(e) 糖原病 I 型では高身長や低乳酸血症をきたす
29. 肝の画像診断において正しいのはどれか。2 つ選べ。
(a) 脂肪成分の検出には血管造影が有用である
(b) 肝細胞癌の検出には肝動脈造影下 CT が第一選択である
(c) 典型的な肝細胞癌の画像所見は早期濃染と washout である
(d) 転移性肝癌の画像所見は nodule-in-nodule appearance である
(e) 転移性肝癌の検出感度が最も高いモダリティは EOB-MRI である
30. 肝の造影 MRI において正しいのはどれか。2 つ選べ。
(a) EOB プリモビスト造影剤は全て胆汁中へ排泄される
(b) EOB プリモビスト造影剤はクッパー細胞に取り込まれる
(c) EOB プリモビスト造影剤を投与して 5 分後に肝細胞相が得られる
(d) 硬変肝では EOB 造影剤の取り込み能が低下する
(e) 肝細胞相のみで低信号を示す結節には厳重な経過観察が必要である
31. 消化管造影に関連して正しいのはどれか。
(a) 硫酸バリウム製剤やイオン性ヨード製剤は陰性造影剤である
(b) 硫酸バリウムは水溶性であるが、難脂溶性である
(c) イオン性ヨード製剤には消化管運動抑制の作用がある
(d) 硫酸バリウム製剤はイオン性ヨード製剤に比して消化管粘膜の描出能が高い
(e) 消化管造影検査直後の腹部 CT は消化管を判別しやすくなるため有用である

32. 大腸 CT について正しいのはどれか。2つ選べ。
(a) 小腸カプセル内視鏡に準じた前処置が行われる
(b) 拡張に炭酸ガスが用いられる
(c) 平坦型大腸病変の検出能に優れている
(d) 腹臥位など1体位のみで撮像が完了する
(e) バリウム製剤が標識剤として用いられる
33. 核医学検査について誤っているのはどれか。
(a) 対象となる臓器・疾患により、使用する核種や製剤が異なる
(b) 異所性胃粘膜シンチ（メッケル憩室シンチ）では $^{99m}\text{TcO}_4^-$ を用いる
(c) 肝胆道シンチは先天性胆道閉鎖症と乳児肝炎との鑑別に有用ではない
(d) FDG-PET/CT 検査では尿路に生理的集積を認める
(e) 高分化型肝細胞癌はFDG-PET/CT 検査で集積が乏しいことがある
34. 腹部の解剖に関して正しいのはどれか。
(a) 胆嚢は肝鎌状間膜より左側にある
(b) 上行結腸より背側に回腸がある
(c) 臍頭部は臍尾部より頭側にある
(d) 総胆管は通常、造影 CT で同定できる
(e) 脾臓と横隔膜の間を横行結腸が走行する
35. 虫垂炎、虫垂について誤っているのはどれか。
(a) 虫垂炎の原因として糞石が多い
(b) 虫垂炎では虫垂内に液貯留を認める
(c) 正常の虫垂の直径は10mm未満である
(d) 盲腸癌は虫垂炎の原因となる
(e) 虫垂は固定されていない
36. 次のうち正しいのはどれか。2つ選べ。
(a) 脾静脈は脾臓腹側を走行し、上腸間膜静脈と合流後、門脈となる
(b) 右副腎は下大静脈背側、肝右葉左側に存在する
(c) 上腸間膜動脈は上腸間膜静脈右側に存在する
(d) 左腎静脈は大動脈と上腸間膜動脈の間を走行し、下大静脈へ合流する
(e) 臨床的に肝左葉と肝右葉は肝鎌状間膜のラインで分けることができる
37. 次のうち誤っているのはどれか。
(a) 血管造影下 CT である CTAP はカテーテルを下腸間膜動脈に留置して行う
(b) 肝細胞癌に対するラジオ波焼却療法(RFA)は保険収載された治療である
(c) BRTO は胃静脈瘤の有効な治療法の1つである
(d) 門脈塞栓術は肝切除術後の肝不全を予防するために行う手技である
(e) 肝動脈化学塞栓療法(TACE)は日本発祥の治療である
38. 胆道の画像診断に関して正しいのはどれか。2つ選べ。
(a) 一般に総胆管径は11mm以下が正常である
(b) 胆嚢腺筋腫症はRokitansky-Aschoff sinusの拡張が診断の根拠となる
(c) 総胆管結石の検出感度はMRIよりCTの方が優れる
(d) 臍胆管合流異常症では癌が発生しやすい
(e) 総肝管がんでは通常、胆嚢腫大を伴う
39. 脾臓の画像診断において正しいのはどれか。2つ選べ。
(a) 脾鉤部癌は胆管や主脾管から離れており、症状に乏しいため発見が遅れる
(b) 主脾管は5mm径以下であれば正常範囲とする
(c) 慢性脾炎の診断には病理診断が必須である
(d) 通常、脾癌は脾実質相にて多血性腫瘍として同定される
(e) 急性脾炎では発症から4週間を境に局所合併症の名称が変わる

40. B型肝炎ウイルス(HBV)とC型肝炎ウイルス(HCV)の感染について正しいのはどれか。
2つ選べ。

- (a) わが国ではHCV抗体陽性肝癌よりもHBs抗原陽性肝癌の方が多い
- (b) HBs抗原陽性肝癌の平均年齢はHCV抗体陽性肝癌よりも高い
- (c) 成人のHBV感染によるキャリア化は稀である
- (d) HCVの感染予防にはワクチン投与が有効である
- (e) 核酸アナログ製剤はHBVに対して効果的である

41. C型肝炎治療後診療で誤っているのはどれか。

- (a) ウイルス学的著効(SVR)後は肝病態が悪化することはない
- (b) AFPなどの腫瘍マーカーを経時的に測定することは有用である
- (c) 非侵襲的に何度も測定できる線維化マーカーの有用性が注目されている
- (d) 個々の症例にあわせたサーベイランス計画をたて実行することが重要である
- (e) 高齢、男性、アルコール摂取、糖尿病などの因子がある症例ではより注意深い経過観察、生活指導が重要である

42. 85歳の女性。在宅療養中のところ介護老人保険施設に初めて入所した。10年前からB型肝炎ウイルスのキャリアであることが病歴に記載されている。必要な対策はどれか。

- (a) 個室に収容する
- (b) 介護者にB型肝炎ウイルスキャリアであることを周知する
- (c) 介護者はこの入所者の汗には直接触れない
- (d) 患者に核酸アナログ製剤の投与を開始する
- (e) 入浴時は他の入所者と同じ浴槽を使わない

43. C型肝炎ウイルスについて正しいのはどれか。

- (a) 一本鎖のRNAウイルスである
- (b) 垂直感染が主である
- (c) HCV抗体は中和抗体である
- (d) 変異株は見られない
- (e) ワクチンが普及している

44. 膵・胆管合流異常について誤っているものはどれか。

- (a) 胆汁中のアミラーゼ値が上昇する
- (b) 胆嚢癌の合併頻度が高い
- (c) 急性膵炎の原因となる
- (d) 膵癌の合併頻度が高い
- (e) 胆管拡張を認める場合には拡張胆管の切除が必要である

45. 自己免疫性膵炎について正しいものを2つ選べ。

- (a) 若年の男性に多い傾向がある
- (b) 血清IgG3値の測定が診断に有用である
- (c) 治療には免疫抑制剤が第1選択である
- (d) びまん性膵管狭細を示す
- (e) 後腹膜線維症を合併することがある

消化器検査コース(3,4,5)について

1：出席について

第1内科が担当する講義では、8割方の授業で秘書さんが座っている席をチェックするという方式で出席を取っておりました。

乳腺外科では、8割方の授業で秘書さんが座っている席をチェックするという方式で出席を取っておりました。

放射線医学では、8割方の授業で秘書さんが座っている席をチェックするという方式で出席を取っておりました。

2：消化器検査コースのグループ発表統括、アクティブラーニングについて

消化器4のアクティブラーニングでは、当てていく形式の授業でしたが、特に知識等を求められるのではなく、その場で考えて適当に答える形式の授業でした(「乳腺外科に対するイメージは?」「留学について、どう思う?」等々)。

消化器5のアクティブラーニングでは、事前に課題が配られ事前に予習してくることを前提に進める講義でした。当てていく方式でした。

コアタイムの発表については・・・失念してしまいました。すみません。

3：消化器検査コース(1,2)の合否情報など

本試の実施日は2022年7月16日、発表は消化器コース(1,2)と併せて2022年8月24日でした。

再試対象者は6名。

再試の日程は学生と相談のうえ決定され、2022年11月29日となりました。

再試の問題は本試と同じでした(ただし、順番は異なりました)。